



BRING

UNIFORM

社団法人を活用した広域認定オペレーションフロー

人と企業と社会をつなぐユニフォーム専門商社

UNIFORM-NET[®]

株式会社ユニフォームネット

目次

1. BRING UNIFORMについて
2. 一般社団法人 日本循環型社会形成推進協会とは
3. 費用
4. 導入までの流れ



1.BRING UNIFORM



BRING UNIFORM

日本は古くから制服文化を持つ国であり、私たちの身の回りには、様々な場所で色々な方々がユニフォームを着用しています。日本では、年間約5,300億円もの新しいユニフォーム毎年出荷されています。また、企業が着用するユニフォームは「**産業廃棄物***」であり、廃棄物関連法案に則りリサイクルを実施する必要がありますが、一方で同じ品質のものが大量に発生するため、効率よく回収・リサイクルできる可能性がある衣料品とも言えます。

* 合成繊維・合成樹脂を含むものに限る。

BRING UNIFORM とは？



様々な企業様と協力しながら、役目を終えたユニフォームを地球の資源へとリサイクルするために、

"リサイクルしたい企業様" に

法令を遵守した正しいリサイクルを提供。



2010年より店頭回収を展開している

BRINGブランドのプラットフォームを活用し、

プロジェクト参加企業様のリサイクル活動を

世の中へPRしていくサポートを行います。

正しく世の中に知られていくことで、このリサイクル活動が
どんどん広がっていくことが、BRING Uniformの願いです



2 . 一般社団法人 日本循環型社会形成推進協会について

名称	一般社団法人日本循環型社会形成推進協会
広域認定	産業廃棄物第232号（2014年1月6日取得）
事業内容	・ 繊維製品、プラスチック製品、携帯電話 その他リサイクル関連事業 ・ リサイクル推進のための普及啓発事業
事業運営主体	日本環境設計株式会社



産業廃棄物処理に関する広域認定（第232号）を取得。
広域認定に基づく、リサイクル体制を**即時構築**することが可能です。



認定を受けているリサイクルプロセスの中には、
最先端のケミカルリサイクル技術が含まれます。



リサイクルにかかる諸手続や関係者調整を**一括管理**します。



各排出先からの物流を手配します。



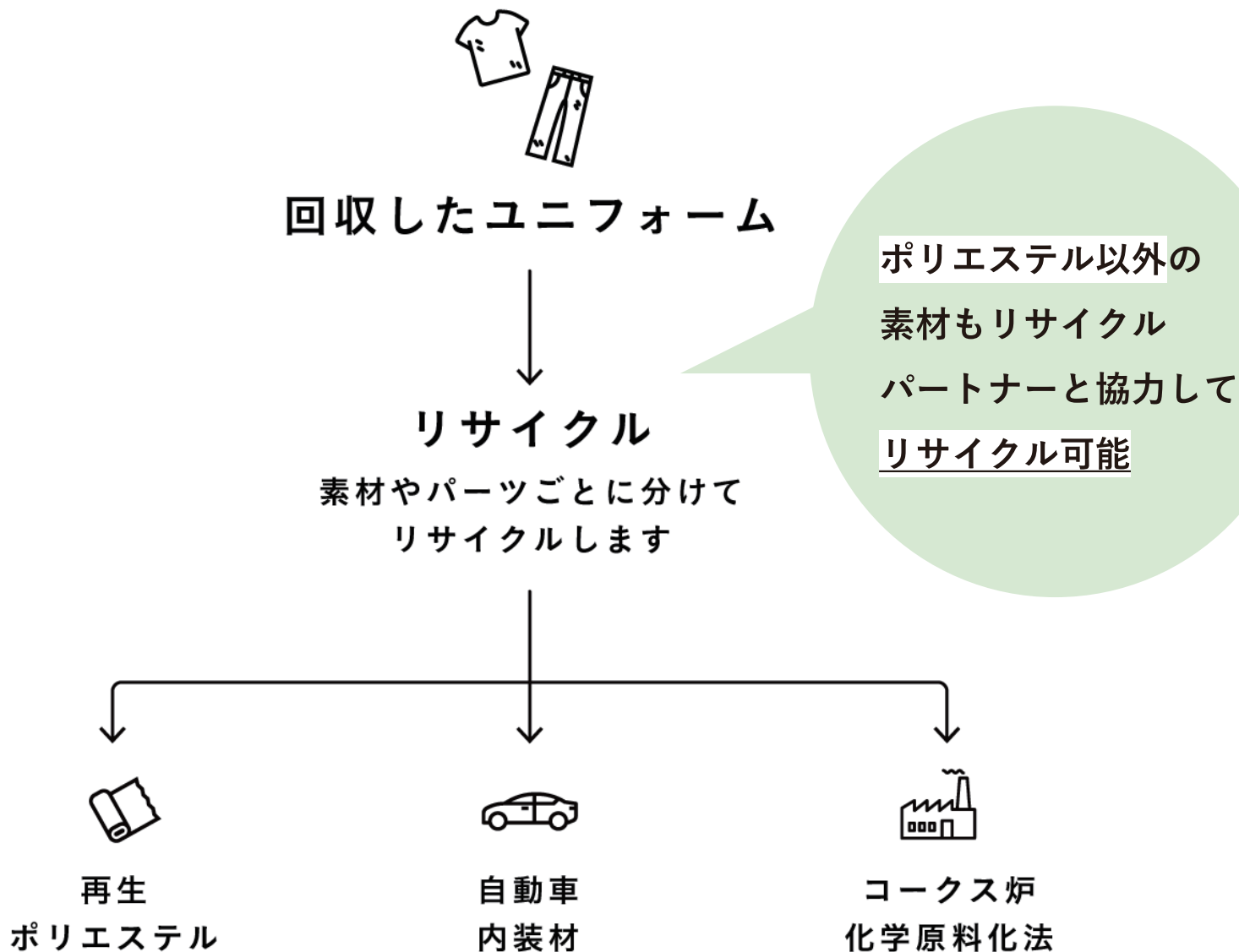
マニフェストの発行も不要です。マニフェストの代替として、
WEBシステムで進捗を管理し、
当社団法人から環境省にWEBデータを報告しています

BRING UNIFORM とは？



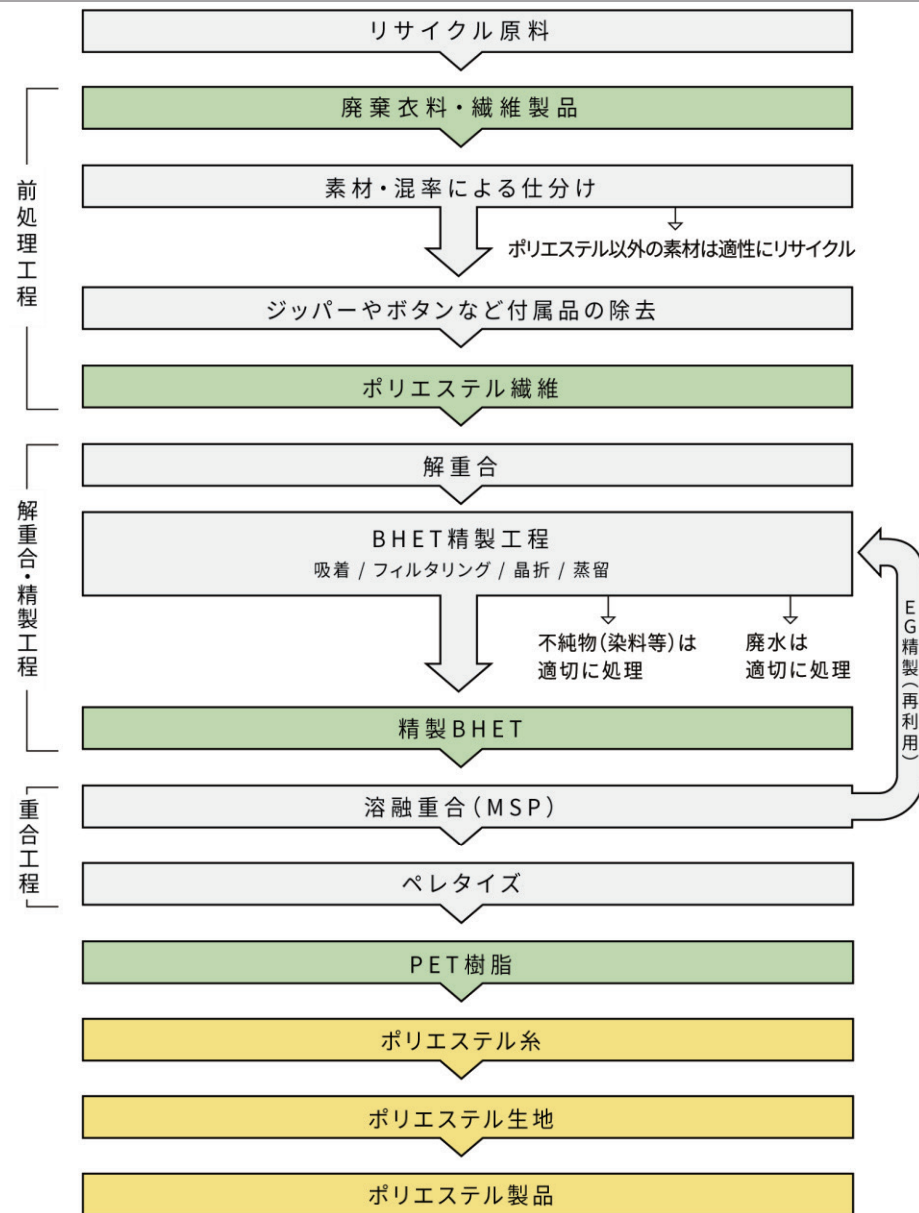
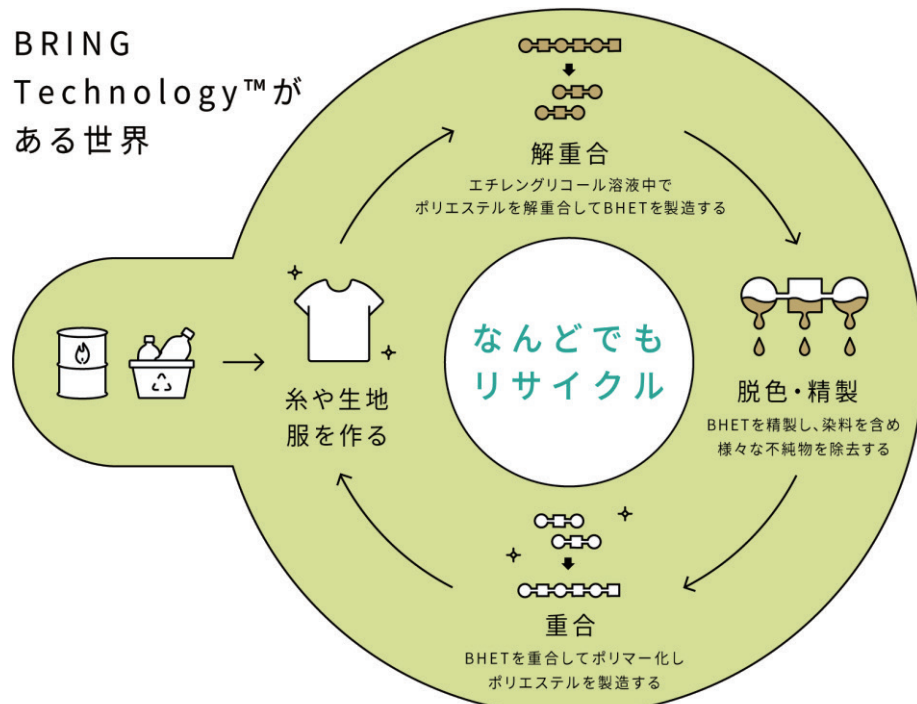
* ポリエステル繊維対象

BRING Uniformで回収したユニフォーム製品は、
服のポリエステル原料や**自動車内装材**などにリサイクルし、
また市場に循環していきます。



リサイクル① 再生ポリエステル

BRING
Technology™が
ある世界



リサイクル② コークス炉化学原料化法

●ケミカルリサイクル（日本製鉄）： 分解ガス/炭化物(コークス)/再生油



ベール

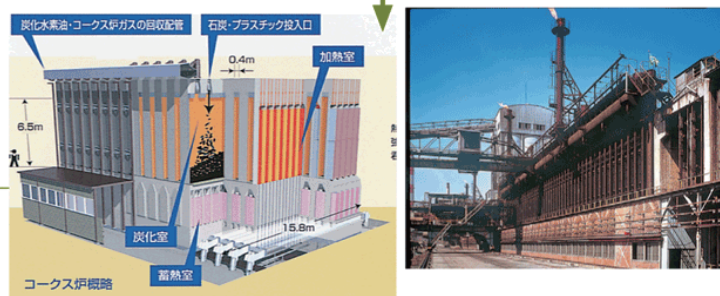


二次破砕物



造粒物

NIPPON STEEL



ガスクーラー（冷却機）

デカンター（分離機）

ガス精製処理

燃料ガス

軽油

タール

40%



分解ガス

（水素・メタンが
主成分の燃料ガス）
・製鉄所内の加熱炉、
発電所等で利用



炭化物

（コークス原料）
・製鉄原料として
高炉で使用

40%



再生油（化学原料）

・樹脂ペレット
・容器包装
・ベンゼン・トルエン
・キシレン
・塗料、電子材料、等

環境への取組み

環境経営の考え方

環境基本方針

エネルギー・マテリアル・バ
ランス

地球温暖化対策の推進

エコプロダクツ(R)の提供によ
る社会への貢献

循環型社会構築への貢献

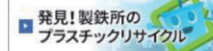
ゼロエMISSIONの社内推進

社会や他産業との連携による
取組み

鉄を利用した海の森づくり

廃プラスチックのリサイクル

日本製鉄は、一般家庭から回収された容器包装プラスチックを、コークス炉を使ったケミカルリサイクル法により100%再資源化しています。具体的には、40%を炭化水素油として回収してグループ会社でプラスチック原材料等に加工し、40%をコークス炉ガスとして回収して製鉄所内の発電所等で燃料として活用し、残る20%をコークスの一部として製鉄工程にて活用しています。



発見！製鉄所の
プラスチックリサイクル
コークス炉化学原料化法による容
器包装 プラスチックリサイクルの
特設サイト「発見！製鉄所のプ
ラスチックリサイクル」を公開中

現在、7カ所の製鉄所で廃プラスチックの受け入れ体制を確立しており、容器包装リサイクル法にプラスチックとして参画している全国740の市町村および組合（複数の市町村の連合）のうち当社は210ヶ所分（2019年度）をリサイクルするなど全国の自治体と提携し、全国で回収される量の約3割にあたる年間約20万トン进行处理しています。当社のコークス炉を使用したリサイクルは、リサイクル効率やキャパシティの面で性能が高いため、地域における循環型社会の形成に寄与しています。

これまでの累計処理量（2000～2018年度）は約307万トンに至り、CO₂削減量で980万トンに相当します。近年では、化学繊維や食品トレイも同方法でリサイクルし、プラスチック製品等に再資源化しています。また、各製鉄所のプラスチックリサイクル工場においては、工場見学を実施しており、特に首都圏にある東日

廃プラスチック処理量

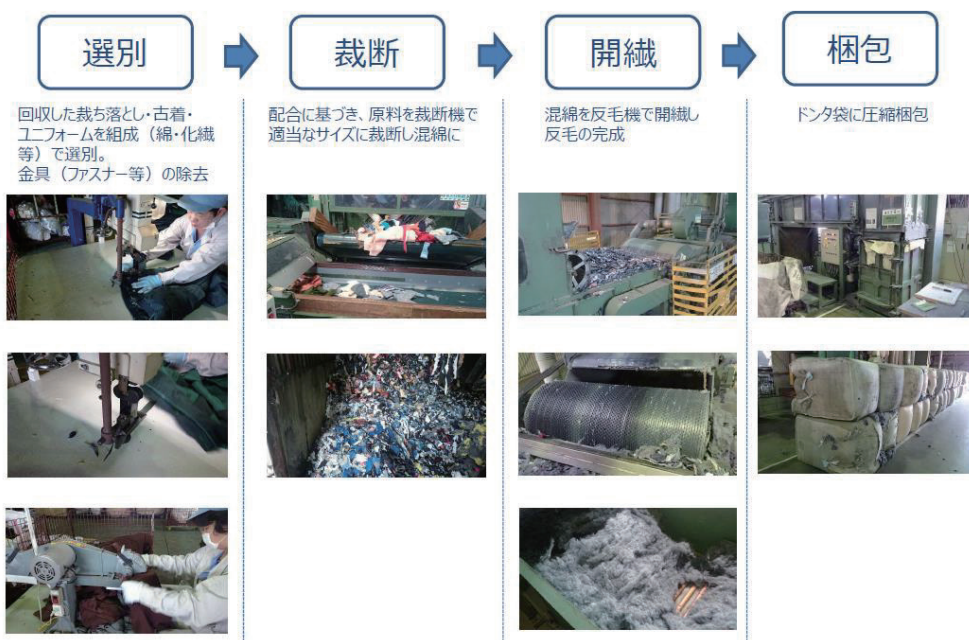
君津製鉄所 : 8万トン／年

八幡製鉄所 : 5万トン／年

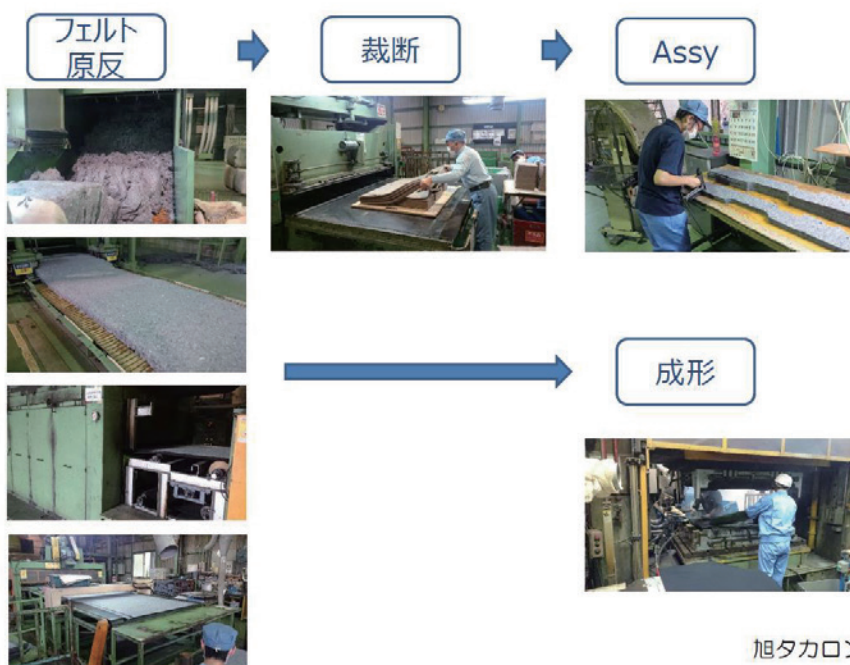
出所：日本製鉄株式会社HP
<https://www.nipponsteel.com/csr/env/circulation/waste.html>

マテリアルリサイクル：自動車内装材【エーケーテック・旭タカロン】

反毛生産工程



エーケーテック



旭タカロン

旭タカロン



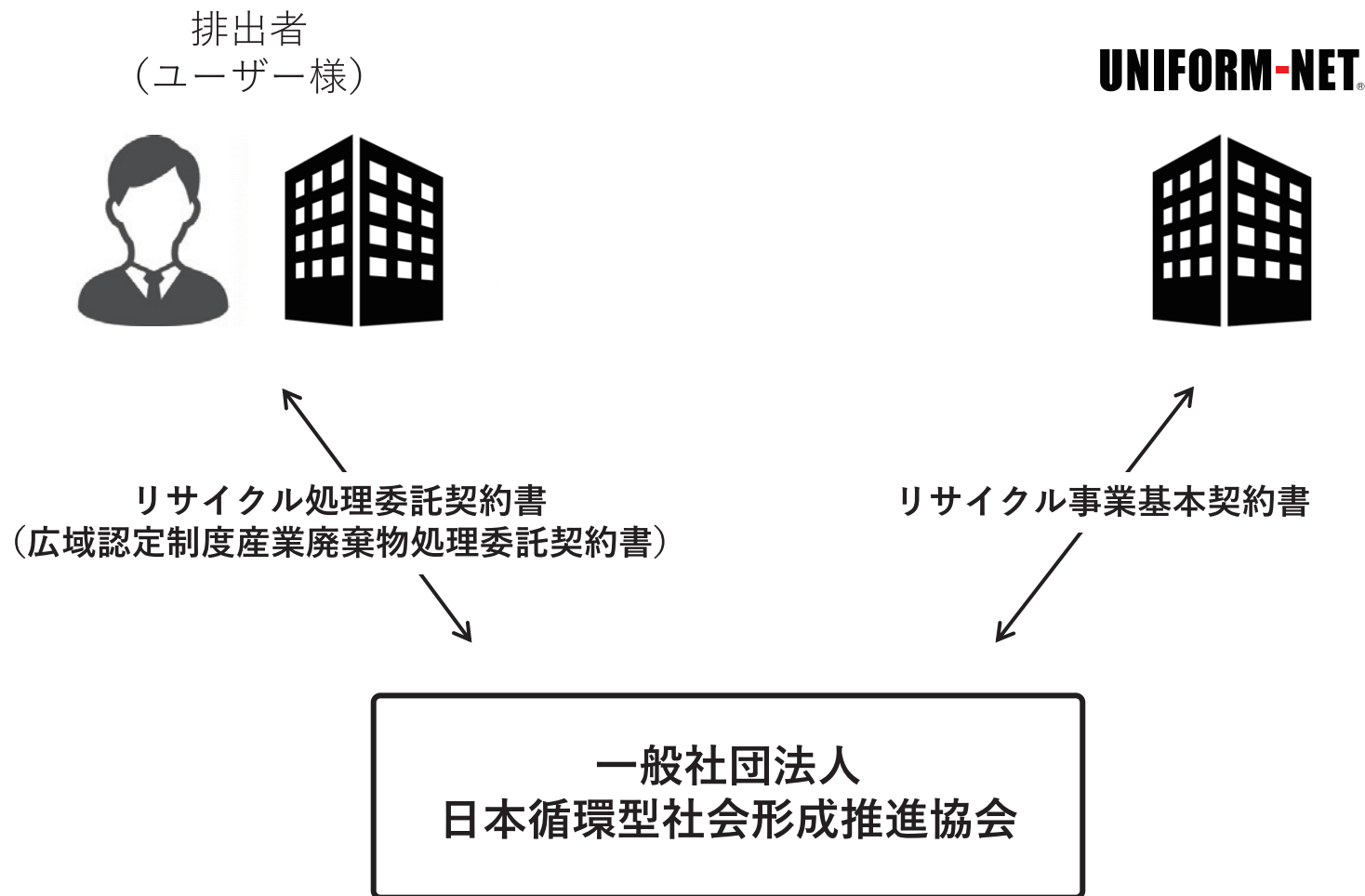
3. 費用

変動費 排出者	費用項目	運用導入後
	リサイクル処理費	ユーザー様と協議のもと決定
	運搬費 (範囲：集約拠点⇒リサイクル施設)	ユーザー様と協議のもと決定



4. 導入までの流れ

取り組む上で必要な契約



BRING UNIFORM導入までの流れ



1.回収のご相談



2.弊社より回収のご提案



3.契約書のご提示



1 週間



2 週間



4.契約書の締結



5.排出者様より回収依頼(データ)



6.回収実行



回収依頼書・報告書 ひな形



		ご依頼日		年	月	日
リサイクル品回収依頼書						
メーカー様名						
ご依頼主（ユーザー）						
(ふりがな)		住所		〒		
会社名						
部署名		(ふりがな)		電話番号		
		担当者名		FAX番号		
メール						
集荷先詳細		☐ ご依頼主と同じ				
集荷希望日(第1希望)		年	月	日	集荷希望日(第2希望)	年 月 日
(ふりがな)		住所				
会社名						
部署名		(ふりがな)		電話番号		
		担当者名				
箱数	箱	重量	kg	総重量	kg	
以下情報は必須ではありませんが、わかる範囲でご記載をお願い致します。						
製品名	品番	数量	素材	備考		
ご請求について						
費用項目	ご負担者様			会社名		
リサイクル費用	☐ ユーザー	☐ メーカー				
輸送費	☐ ユーザー	☐ メーカー				
請求書送付先						
会社名	住所					
部署名	担当者名		電話番号			

リサイクル委託業務報告書⁴

2020年〇月〇日←

株式会社〇〇〇〇 御中←

一般社団法人日本循環型社会形成推進協会

東京都千代田区霞が関 3-2-5

霞が関ビルディング 25F←

Tel 03-6273-3218 ←

拜啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。㊦

この度は弊社回収リサイクルシステムにご参画いただき、また当社のリサイクル事業にご協力頂き
お礼申し上げます。←

つきましては、御社との「リサイクル委託業務」が終了致しましたのでご報告いたします。

業務目的	1. リサイクル対象品の分別 2. リサイクル対象品の適切な処分（リサイクル）										
実施内容	●実施期間 2020年〇月〇日～2020年〇月〇日 ●実施場所 <table border="1"> <tr> <th>業務内容</th><th>実施内容</th></tr> <tr> <td>受け入れ箱数</td><td>〇〇〇箱</td></tr> <tr> <td>受け入れ数量</td><td>〇〇〇kg</td></tr> <tr> <td>知財返送</td><td>特に無し</td></tr> <tr> <td>再生利用</td><td>再生ポリエステル樹脂製造、コークス炉化学原料化法、自動車内装材にリサイクル</td></tr> </table>	業務内容	実施内容	受け入れ箱数	〇〇〇箱	受け入れ数量	〇〇〇kg	知財返送	特に無し	再生利用	再生ポリエステル樹脂製造、コークス炉化学原料化法、自動車内装材にリサイクル
業務内容	実施内容										
受け入れ箱数	〇〇〇箱										
受け入れ数量	〇〇〇kg										
知財返送	特に無し										
再生利用	再生ポリエステル樹脂製造、コークス炉化学原料化法、自動車内装材にリサイクル										
業務ポイント	1. 荷受け 2. 分別 3. リサイクル対象品の分別・仕分け・カット 4. リサイクル対象品の処分（リサイクル）										
数値実績	● 〇〇箱〇〇〇〇kg 受け入れ ● 再生ポリエステル樹脂製造、〇〇〇〇用に出荷しリサイクル										



名称	日本環境設計株式会社 JEPLAN, INC.
代表者	高尾正樹
設立	2007年1月
資本金	41億200万円（資本準備金含む）
社員数	130名（グループ会社含め 160名）
本社所在地	神奈川県川崎市川崎区扇町12番2号
工場所在地	北九州響灘工場 福岡県北九州市若松区響町1-120-6
子会社	ペットリファインテクノロジー株式会社 神奈川県川崎市川崎区扇町12番2号